

知識を相互に関連付けて思いや考えを基に創造する姿を目指すために、
資質・能力が活用・発揮される場面の設定を図る学習

日 時 令和2年10月30日(金) 5校時 実施
生 徒 上川町立上川中学校1年A組 15名
指導者 鏡 匡 助

1 単元名 Unit6 「オーストラリアの兄」 (東京書籍 1年)

2 単元について

(1) 教材観

本単元に関わる学習指導要領の目標および内容(抜粋)は、次のとおりである。

【学習指導要領】～外国語科の目標と内容～

1 目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(3) 話すこと [やりとり]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

2 内 容

エ 話すこと [やり取り]

- (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。
- (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。
- (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり、自ら質問し返したりする活動。

本単元では、新しいALTの情報を得るために、三人称単数の主語を用いたやり取りをさせる。そのために第1学年では、三人称単数の主語で現在形(以降、三単現と表す)の場合、一般動詞に“s”を付けること、その“s”の正体が“does”であるという知識を身に付け、自分や相手以外の人について話したり、たずねたり、また答えたりすることができるようになっていく。第2、3学年においても、“looks～”や“has to”，“has 過去分詞”など、三単現を扱う時には、常に“s”をつけるよう指導し、意識的に“s”を付けられるようになっていく。

(2) 生徒観

生徒は既習の学習内容が少しずつ知識として定着されつつあり学習意欲も高い。またコミュニケーション活動において、知識を関連付けて自己表現しようとする積極的な姿勢も多く見られる。反面、テストやレポート課題など書くことについては、語彙が少ないこと

や be 動詞と一般動詞の使い分けがまだ身に付いていないことが原因でのミスが多く見られる。

(3) 指導観

本単元では、目的意識をもってやり取りをさせるために、新 ALT のウェルカムパーティーを企画し、単元最後の時間に新 ALT の情報を現 ALT から即興でやり取りさせ、聞き出すという場面を設定した。そこで、情報を聞き出すために必要となる三人称という概念を身に付けさせる。手振りを使って理解させ、帯活動であるラインゲームやペアワークの中で繰り返しやり取りや英作文させることで、習得を目指していく。また、最初に単元の最終ゴールである現 ALT とのやり取りをパフォーマンステストとすることを示し、そこに向かうまでの道筋も示しながら、生徒が学習を振り返ることができるように指導していく。

毎時間の授業を進めるにあたっては、思考が止まらないように授業を展開し、お互いの間違いを認め合い、教え合いながら、授業を展開することで、自信をもって活動できるように支援していきたい。

(4) 学びの基盤

学びの基盤に関わり、本学級では以下の点を大切にしてきた。

- ① 「教室環境の整備」について
 - ・全学級の黒板の上に話し合い活動の手順を掲示し、生徒の思考の流れが見やすくなるようにした。
- ② 「学習規律の確立」について
 - ・チャイム前に席に着くように指導してきた。また、教師側もチャイムが鳴る前に教室に入り、チャイムと同時に授業を開始するよう心掛けてきた。
 - ・正しい姿勢で学習に臨むよう指導してきた。
- ③ 「支持的風土の醸成」について
 - ・自分の考えをもつことや自分なりに表現することの大切さを指導してきた。
 - ・他者の話を理解し、質問をしたり、応えたりする中で、コミュニケーション能力を育み、共感的理解の大切さを指導してきた。

3 単元の目標

- (1) 三人称単数現在の肯定文の形、疑問文とその答え方、否定文の形・意味・用法に関する知識を身に付ける。また実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身に付ける。 (知識及び技能)
- (2) 自分と相手以外の人について話したり、たずねたり、答えたりすることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 英語を用いたコミュニケーションの楽しさを実感して英語で話したいという意欲を育て、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。 (学びに向かう力、人間性等)

4 評価規準

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 ・学習した言語教材の特徴やきまりを理解している。 〈技能〉	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

<p>・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。$(a + b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$</p>	<p>て、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝えあっている。</p>	
<p>学習活動における具体の評価規準</p>		
<p>①家族を紹介する発表を聞いて、その人物について、質問したり、答えたりすることができる。</p> <p>②単元テスト</p>	<p>①ウェルカムパーティーに必要なものとそうではないものを伝え合う中で、自分で判断し、意見を伝えることができる。</p> <p>A good party has ○○. A good party doesn't have ○○.</p> <p>②新しい ALT のウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用し、マーク先生（現 ALT）から必要な情報を聞き出すことができる。</p> <p>Does he like ○○ ? What ○○ does he like</p> <p>③単元テスト</p>	<p>①単元の課題に対して、自己目標を設定する。毎時間の学習の振り返りを行い、学習の達成状況を確認している。</p> <p>②新しい ALT のウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用し、マーク先生（現 ALT）から必要な情報を聞き出そうとしている。</p> <p>③単元・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>

5 単元の指導計画と評価計画

(1) 単元の指導計画と評価計画における 18 次研究との関わり

研究内容（3）指導計画・評価計画

指導に生かす評価、記録に残す評価の位置付け

本単元は、Part 1 で三人称の主語の場合、一般動詞に“s”をつけることを学ぶ。Part 2 では does を用いた疑問文とその応答を学び、Part 3 では does not を使う否定文を学ぶ。Daily Scene 2 では、電話の表現を学ぶ。

記録に残す評価については、単元の最後の時間に単元テストを実施し、「知識・技能」の観点を中心に評価する。主語が三人称の場合に動詞に“s”を付けられるか、また does を使って疑問文を作ったり、答えたりすることができるかを見取っていく。また Daily Scene 2 の電話の場面を利用し、第三者の情報を聞き出すためのパフォーマンステストを実施し、「思考・判断・表現」の評価を中心に行う。目的のために何の情報が必要か判断し、そのための質問を既習事項を活用して作ることができたかを見取っていく。



それ以外の時間については、指導に生かす評価を行い、個に応じた指導や授業改善に生かしていく。

主体的に学習に取り組む態度については、毎時間振り返りシートを使って、何がわかって、何が疑問なのか等を記入させる。この際、理解度だけでなく、興味をもったことや疑問等を記述するように指導し、授業改善に生かすなど、指導に生かす評価の材料とする。また、小単元ごとにそれまでの学習を振り返り、分かったことや疑問を確認させることで、その後の学習を見通すことができるようにするとともに、単元最後に回収し記録に残す評価の材料とする。単元の最後に行うパフォーマンステストでは、必要な情報をたくさん聞き出すためにコミュニケーションを図ろうとしている姿を見取り、記録に残す評価の材料

とする。

(2) 単元の指導計画と評価計画

問題文 学習課題 まとめ 目標 指導 指導に生かす評価 記録 記録に生かす評価

時	主な学習活動	評価方法及び指導上の留意点		
		知・技	思・判・表	主
1	<p>Unit 6-1</p> <p>◎三人称という概念を理解し、主語が三人称の際に、一般動詞に“s”を付けることができる。</p> <p>主体的な学び</p> <p>○課題を把握する。(単元の最終ゴール)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>マーク先生に電話をして、新 ALT がどんな人か知り、全員が楽しめるウェルカムパーティーを計画しよう！</p> </div> <p>○身振り手振りをを用いて、三人称単数の概念を理解する。</p> <p>○一般動詞に“s”を付ける練習をする。</p> <p>○まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>のとき、do 動詞に“s”を付ける！！</p> </div> <p>●本時の学習を振り返る。(自己目標の設定)</p>	<p>指導<①></p> <p>・観察</p> <p>三人称単数の概念を理解させるために、身振り手振りをを用いたり、三人称単数の手の位置を覚えさせたりして、主語が三人称単数のときには一般動詞に“s”が付くことを理解させる。</p>		<p>記録<①></p> <p>・振り返りシート</p> <p>単元の課題に対して、自己目標を設定する。毎時間の学習の振り返りを行い、学習の達成状況を確認している。</p>
2 3 4	<p>Unit 6-1 復習・Unit 6-2</p> <p>◎第三者の自己紹介を聞いて、その人物について、質問をしたり、答えたりすることができる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達と自分の家族を紹介し合い、内容について互いに質問し合おう！</p> </div> <p>○教科書の本文 (unit 6-1) を読み聞きして、第三者についての情報を理解する。</p> <p>○自分の家族を紹介する英文を書く。</p> <p>●ペアやグループで、自分の家族を紹介し、発表を聞いた生徒はその人物について質問をし、発表者はその質問に答える。</p> <p>○教科書の本文 (Unit 6-2) を読み聞きして、第三者に関わっての問答を理解する。</p> <p>○まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>のとき、do 動詞に付けていた“s”の正体は・・・“does”！！ 質問するとき、答えるときは“does”を使う。</p> </div> <p>○第 2・3・4 時の学習を振り返る。</p>	<p>指導<①></p> <p>・観察</p> <p>最初はペアで問答させ、表現に十分慣れさせてからグループにして問答させる。</p> <p>記録<①></p> <p>・観察</p> <p>家族を紹介する発表を聞いて、その人物について、質問したり、答えたりすることができる。(第 4 時)</p>		<p>指導</p> <p>・振り返りシート</p> <p>毎時間の学習の振り返りを行い、学習の達成状況を確認している。</p>

5 6	<p>Unit 6-2 復習・Unit 6-3</p> <p>◎ウェルカムパーティーに必要なものとそうでないものを伝え合う中で、自分で判断し、意見を伝えることができる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">楽しいパーティーには何が必要か考えよう！</div> <p>○三単現の否定文を導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の好きなもの・嫌いなものを用いて、インフォメーションギャップの活動を行う。 <p>○個人で、楽しいパーティーには、何が必要か、必要ではないかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・What does ～ とパフォーマンステストの導入 <p>○教科書 P71 の基本練習などを用いて「しないこと / 好きではないこと」を伝える表現を復習する。</p> <p>○教科書の本文 (Unit 6-3) を読み聞きして、第三者に関わっての否定文を理解する。</p> <p>●ペアやグループで、楽しいパーティーには何が必要か、必要ではないかを伝え合う。その後、全体で共有する。</p> <p>○第5・6時の学習を振り返る。</p>		<p>指導〈①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・観察 <p>What does a good party have? の質問の答えを考えさせるために、新ALT の情報を伝える。また、ペアやグループで共有させる。</p> <p>記録〈①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート <p>ウェルカムパーティーに必要なものとそうでないものを伝え合う中で、自分で判断し、意見を伝えることができる。</p> <p>What does a good party have? A good party has ○○. A good party doesn't need ○○. (第6時)</p>	<p>指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート <p>毎時間の学習の振り返りを行い、学習の達成状況を確認している。</p>
--------	--	--	---	---

7 8 9	<p>Unit 6 復習・Daily Scene 2 「電話の会話」</p> <p>○教科書 P72～73 の STEP 1～3 を用いて、電話の基本表現を練習する。</p> <p>◎マーク先生(現 ALT)にたくさん質問するために、長谷川先生(T 2)にたくさん質問して、校長先生の情報をたくさん聞き出すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で1～3つの質問を考える。 ・集団で情報を共有する。3人グループで、それぞれ考えた質問をグループ内で発表し、表現や内容を精査する。 ・T 2 とのやりとりの中で、校長先生の情報をたくさん聞き出す。 ・聞いた情報を紙に書いて黒板に貼る。 <p>◎新しいALTのウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用してマーク先生(現 ALT)から新ALTについての情報を聞き出すことができる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>新 ALT のウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用してマーク先生(現 ALT)から新ALTのことを聞き出そう。</p> </div> <p>○ウェルカムパーティーに必要なものを考え、ALTへの質問を考える。</p> <p>●パフォーマンステスト(第9時)</p> <p>○聞いた情報をもとに、ウェルカムパーティーの最終計画を組み立てる。</p>		<p>指導<②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 <p>校長先生の情報をたくさん聞き出すために、既習の様々な表現を駆使し、個人やグループで質問の表現を考えさせる。</p> <p>記録<②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 <p>< response ></p> <p>新しいALTのウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用し、マーク先生から必要な情報を聞き出し、たりすることができ。(第9時)</p>	<p>記録<②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 <p>< attitude ></p> <p>新しいALTのウェルカムパーティーを計画するために、電話を使用し、マーク先生から必要な情報を聞き出し、たりしようとしている。(第9時)</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ●単元テスト ●単元の学習・自己目標の達成状況を振り返る。 	<p>記録<②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト 	<p>記録<③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト 	<p>記録<③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート <p>単元・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>

6 本時の学習(10時間扱い 8/10)

(1) 目標

校長先生の情報を聞き出す質問をたくさん考えて、マーク先生に必要な質問をするための準備をすることができる。

(2) 本時における18次研究との関わり

研究内容(4) 観点ごとの総括

必要な情報を聞き出すための質問ができるようにするための見取り方とその判断

次時のパフォーマンステストでは新ALTのウェルカムパーティーを計画するという具体的な場面を想定し、現ALTに電話で実際に質問させる。そこで本時では、必要な情報を聞き出すための質問ができるように、帯活動であるLine gameやPair workの中で、繰り返し質疑応答することで表現に慣れさせる。その後、校長先生の情報を聞き出す質問をたくさん考え

て、T2に質問をする練習を繰り返すことで知識を深めさせる。T2との練習場面で、表現が適切であるかややり取りができていくかについて指導に生かす評価を行い、次時に繋げる。次時のパフォーマンステストにおいては、記録に残す評価とする。

《努力を要する状況になりそうな生徒への支援》

〈個人思考〉 校長先生について知りたいことを聞くための質問を考える場面

【支援1】 質問の内容で困り感のある生徒については、机間指導の中で、思考を広げられるような校長先生の情報を伝える。

【支援2】 質問の方法(英語の表現)で困り感のある生徒については、前時までのワークシートなどを参考にして、考えさせる。

(3) 展開

1 単位時間の問題文 1 単位時間の学習課題 まとめ **白抜き** 研究との関わり

教師の活動	生徒の思考と手立て
1 Greeting 2 Line game ① (単語の確認) Line game ② (重要表現の確認) 3 Pair work (重要表現を用いた自己表現) 4 課題提示	<ul style="list-style-type: none"> • Student teacher • 単元の新出単語を確認する。 • 単元の重要表現を確認する。 • 会話で重要表現を確認する。
校長先生の情報を聞き出す質問をたくさん考えて、明日マーク先生に必要な質問をするための準備をしよう！	
5 個人思考 ・校長先生について知りたいことを1～3つ考えさせ、質問する内容や表現を考えさせる。 6 集団思考 ・3人のグループにして、質問する内容や表現を話し合わせ、練習させる。 ・表現の間違いをお互いに修正する。 ・グループでT2のもとに行き、質問させる。 ・聞いた情報を英語で紙に書き黒板に貼らせる。	予想される答え ・好きな○○ ・経験したスポーツ ・休みの日にしていること… 予想される答え ・Does he like(play) ○○? ・What ○○ does he like(play)? ・What does he do on his holiday? ・He likes ○○. ・He plays ○○. ・His favorite ○○ is □□.
指導に生かす評価 【評価場面】 ・グループワークの観察 ・ワークシートによる記録 既習の表現を用いて、自分の聞きたいことを英語で質問することができる。 <手立て> ・既習の表現を、家族紹介などのワークシートを振り返らせることで想起させる。	

7 本時の学習について振り返らせる。
振り返りにおいて次時に向けて、新ALTについて聞きたいことを考えてメモをする。

「今日の学習は、自分で考えて解決できたぞ。」

(4) 板書

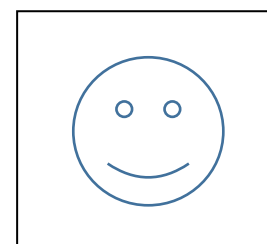
明日マーク先生にたくさん質問するために、長谷川先生に質問して、校長先生の情報をたくさん聞きだそう。

☆必要な情報を質問するために…

○Does he like ○○?

○What □□ does he like?

He likes...



He plays...

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]

[Empty box]